

# 平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 千代 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、3年生を対象として、「教科(国語, 数学, 英語)に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 数学, 英語)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 生徒質問紙調査

生徒質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

#### (1) 全国・本市の学力調査(国語, 数学, 英語)の結果

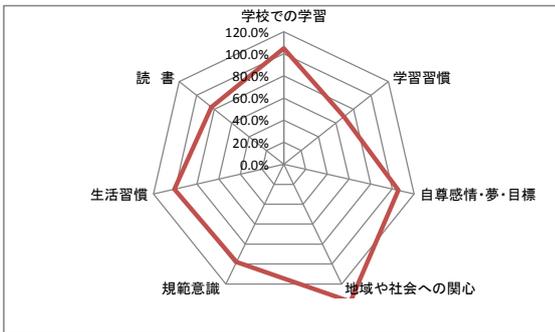
本年度の結果	国語		数学		英語	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	6.9	69	8.9	56	10.6	51
全国	7.3	73	9.6	60	11.8	56

※英語「話すこと」調査に関しては、参考値のため、集計から除外している。

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	全国平均を下回っている。特に「読む能力」の領域が全国平均を下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	「文章に表れているものの方見方や考え方について、自分の考えを持つ」の問題は正答率が高い。	
	努力が必要な問題	「話し合いの話題や方向性を捉える・自分の考えをもつ」問題は、正答率が低くて課題である。	
数学	全体的な傾向や特徴など	全国平均を下回っている。「関数」の領域は全国平均を上回っているが、「資料の活用」の領域が全国平均を下回っている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	「簡単な場合について、確立を求めることができる」の問題は正答率が高い。	
	努力が必要な問題	「資料を活用する」問題は正答率が低い。また、「新たな事柄を見だし、説明する。資料を活用する」問題は、無回答率が高く課題である。	
英語	全体的な傾向や特徴など	各領域ともに全国平均を下回っている。多くの問題で正答率が低い。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よってきた問題	「聞くこと」に対しては、無回答率が低い。	
	努力が必要な問題	どの領域においても正答率が低く課題である。	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<p>○「同時刻に寝る・起きる」「朝食を食べる」などの基本的な生活習慣はしっかりと身につけている。</p> <p>○学習面においては、学校からの宿題はしっかりと取り組むことができているが、自分の目標に向かって計画を立て取り組む割合は低い。</p> <p>○「いじめがいけないこと」「規範意識」については高いものがある。</p> <p>○ほとんどの生徒が「人の役に立つ人間になりたい」と答えている。</p>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○学習習慣が宿題をすることで完結している生徒が多い。計画性を持って、自ら予習・復習に取り組むように、学校全体で取り組んでいく必要がある。

○自分の考えが発信できる生徒を育成するためにも、体験授業や話し合い活動を通しての取り組みを行う。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

○「早寝・早起き・朝ごはん」の大切さを改めて啓発し、基本的な生活習慣が崩れないように学校全体で取り組んでいく。

○携帯電話・スマートフォンの使用に関しては、使用時間・使用の仕方をしっかりと考えるよう、規範意識授業等を通して、利便性・危険性を伝えていく。